

金高生が大槌高校を視察



大槌高校視察の様子



金ケ崎高校の生徒が8月2日、大槌高校を視察しました。
同校は、昨年度から高校の魅力を町内外に発信するため、町内の起業家による講演会や2年生の「総合的な探究の時間」で研究した成果の展示など、魅力化促進の取り組みを進めています。

魅力的な学校となるためには、生徒自身が夢を実現できる環境こそが大切と捉えている同校。本年度の新たな取り組みとして、生徒が主体的に校則を変えることに関わった大槌高校の取り組みを学ぶため、3年生と2年生の生徒が大槌高校を視察しました。

大槌高校との交流会には同校と黒沢尻工業高校の生徒が参加し、各校の校則等について話し合ったり、校則を変えた大槌高校の取り組み事例発表が行われました。

視察を終え、生徒会執行部を中心としたメンバーで校則について話し合った同校。そこで出た「登下校時の服装」のあり方について、生徒会執行部は各クラスから意見を集め、10月中旬に行われる生徒総会で生徒の提案をまとめます。その後、学校が校則を変えるための教職員への提案に向けて取り組み予定です。

Interview

視察に参加した2年生に聞きました



金ケ崎高校2年
つるた なせ
鶴田 七星さん
=生徒会長=

生徒の意見をまとめてより良い学校に

大槌高校の取り組みを聞いて、ただ校則を変えたいと言うだけではなく、実際に行動することが大切だと感じました。私が生徒会長になるとき、生徒の意見を踏まえてより良い学校にしていきたいと思っていました。校則を変えるのは大変なことですが、少しでもみんなの意見をまとめて1つの挑戦にしていきたいです。



金ケ崎高校2年
おほら まな
小原 茉菜さん
=議長=

新たな金高の1つの魅力にしていきたい

金高は特徴がない高校だと思っていたけど、他校との校則の違いから、自分たちの学校の良いところと改善すべきところが分かりました。大槌高校の話聞いて、自分たちでもできることがあると思いました。また、これまで当たり前だと思っていたことを考え直し、自分たちで校則を変えていくことも金高の魅力の一つにしていきたいと思いました。



With コロナの行政運営

町は、コロナ禍においても、さまざまな方法で行政サービスを提供しています。今回は、その取り組みの一部を紹介します。

住民参加型の町政へ

オンライン会議システム「Zoom（ズーム）」を使って、6月に町民懇談会を開催しました。参加者は、会場で参加する方法と、自宅でインターネットを使ってウェブ視聴する方法があります。



町民懇談会（西部地区）

公共施設の安心利用へ

中央生涯教育センターなどの公共施設では、3密回避のため、大ホールなどの大きい場所の貸し出しとしました。



金ケ崎マラソン大会特別大会



リモート夏まつり審査会

住民サービスの維持へ

窓口で密になるのを防ぐため、郵便申請による証明書（住民票、所得・課税証明書、納税証明書など）の交付手数料と返信郵送料を無料にしました。（期間：6月1日～8月31日）

皆が楽しめるイベントの開催に向けて

- ▶町民限定で金ケ崎マラソンを開催しました。
- ▶夏祭りはリモート夏まつりを開催しました。
- ▶町内の産直や飲食店に安くアスパラガスを提供しメニューを考案してもらうことで、来店者が町内のアスパラガスを今まで以上に知ることができました（アスパラ収穫祭）。

コロナ禍でも健康に

自粛により認知となる人を予防するため、地区センターを会場に、生涯スポーツ事業団とインターネットで繋ぎ、画面を見ながら体を動かす運動教室を実施しています。

スマホで簡単に情報収集・発信へ

「わが家のアイドル」など、スマートフォンで申請できる方法を周知しています。そのほか、公式LINE（ライン）やIATデータ放送を活用した情報発信も行っています。

今後検討している事項

- ▶議会傍聴のオンライン配信。
- ▶診療所の会計をカード支払いとし窓口のスムーズ化を図る。
- ▶住民課で行っている番号札の運用（税務課）。
- ▶保育の窓口対応。
- ▶町内飲食店とのイベント「カレーがさきタウン」の開催。